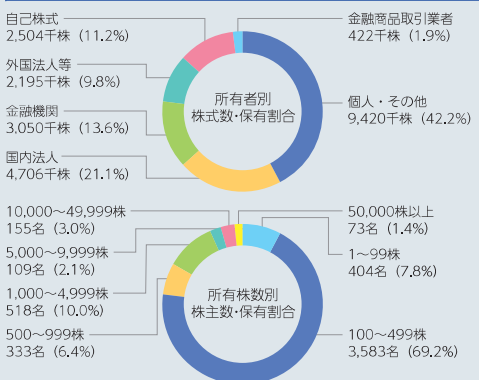


株式の状況	(2022年6月30日現在)
発行可能株式総数	73,600,000株
発行済株式の総数(自己株式2,504,286株を除く)	19,795,914株
株主数	5,175名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
栗山博司	1,492	7.5
NOK株式会社	1,095	5.5
クリヤマホールディングス従業員持株会	653	3.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	612	3.0
クリエイト合同会社	600	3.0
株式会社三菱UFJ銀行	491	2.4
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	441	2.2
株式会社オーハシテクニカ	400	2.0
タイガースポリマー株式会社	386	1.9
イーグル工業株式会社	360	1.8

(注) 1.持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2.持株数については、千株未満を切り捨てて表示しております。  
3.持株比率については、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。  
4.自己株式については、上記大株主から除いております。

株式分布状況 (2022年6月30日現在)



会社概要 (2022年6月30日現在)

社名 クリヤマホールディングス株式会社  
 英文社名 KURIYAMA HOLDINGS CORPORATION  
 資本金 7億8,371万6,600円  
 創業 1939年4月5日  
 設立 1940年12月21日  
 従業員数 1,292名(連結)

役員 (2022年8月8日現在)

代表取締役CEO 社長執行役員 小 貴 成 彦  
 取締役 大 村 暢 彦  
 取締役監査等委員(常勤) 宮 地 久 人  
 取締役監査等委員(社外) 七 山 聖 學  
 取締役監査等委員(社外) 酒 谷 佳 弘  
 執行役員 管理部長 元 木 雄 三  
 執行役員 Brian Dutton

株主優待のご案内

株主の皆さまの日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主さまに中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を実施しております。

制度の概要

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式200株(2単位)以上保有の株主さまを対象としております。

株主優待の内容

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された株式数に応じてクオカードを贈呈しております。

保有株式数	優待内容
200株以上2,000株未満	当社オリジナルクオカード 1,000円
2,000株以上	当社オリジナルクオカード 3,000円

贈呈の時期

毎年3月下旬、定時株主総会后書類に同封してお送りしております。

クオカードについて

当社連結子会社のクリヤマジャパン株式会社で販売しております[MONTURA](イタリアのスポーツウェア)のオリジナルデザインとなっております。



(注)ご優待の内容は予告なく変更となる場合があります。

ホームページのご案内

当社最新情報を下記ホームページに掲載しております。

<https://www.kuriyama-holdings.com>



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 毎年3月  
 基準日 定時株主総会…12月31日  
 剰余金の配当…期末 12月31日  
 中間 6月30日(中間配当を行う場合)

単元株式数 100株  
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 ☎ 0120-094-777(通話料無料)

上場金融商品取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

公告方法 電子公告の方法により行います。  
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 (公告掲載URL <https://www.kuriyama-holdings.com>)

証券コード 3355

UD FONT  
 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

# KURIYAMA REPORT

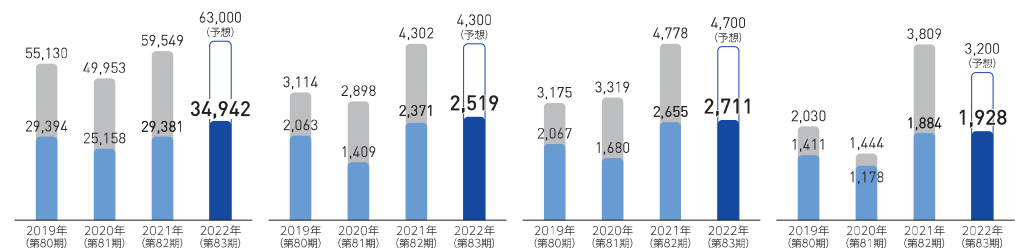
第83期 第2四半期 2022.1/1 ▶ 2022.6/30

証券コード 3355

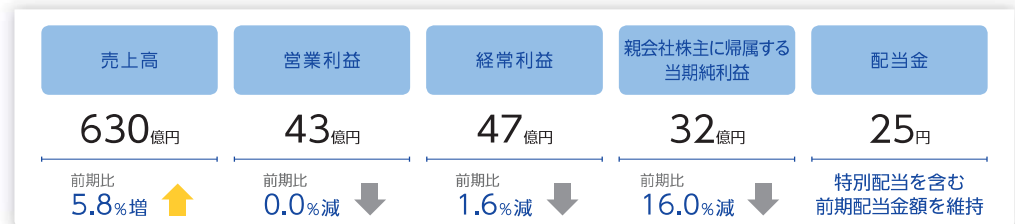


KURIYAMA  
 クリヤマホールディングス株式会社

2022年12月期 第2四半期 決算ハイライト



2022年12月期 業績予想



詳細は、当社ホームページに掲載されている「投資家情報」をご覧ください。  
<https://www.kuriyama-holdings.com/ir.html>



## 持続可能な社会づくりに貢献する 企業グループを目指して

**クリヤマホールディングス株式会社**  
代表取締役CEO 小貫 成彦



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染再拡大による影響が懸念されており、大変な時期が続いておりますが、ご健康に充分に留意されご自愛のほど心よりお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、多くの国や地域において新型コロナウイルス感染症への防疫措置が適宜緩和されたことにより正常化が進みました。一方で、ゼロコロナ政策に伴う上海市の厳格なロックダウンをはじめとした中国の主要都市での行動制限に加え、ロシアのウクライナ侵攻に対する大規模な経済制裁等によって、原材料・エネルギー価格

の高騰やサプライチェーンの混乱に拍車がかかり、先行きの不透明感が高まりました。

我が国経済は行動制限の段階的な緩和とともに持ち直しの動きが見られたものの、資源価格をはじめとする物価高騰に加え、急激な円安の進行により景気下振れリスクが高まりました。

このような経済状況の中、当社グループは需給の不均衡とそれに起因するインフレ加速に対処すべく、サプライチェーンの最適化や適切な価格転嫁を図ることで業績向上に努めてまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は、349億42百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益は25億19百万円（前年同期比6.2%増）、経常利益は27億11百万円（前年同期比2.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、19億28百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

### 1 スポーツアパレル事業の強化に向けた 連結子会社による吸収合併

2022年7月1日付けで、当社連結子会社であるクリヤマジャパン(株)は、同子会社(当社孫会社)のエアモンテ(株)を吸収合併いたしました。

国内スポーツアパレル市場は、コロナ禍による生活環境の変化と健康志向の高まりにより拡大成長しております。この環境下、本合併により、エアモンテ(株)が有するスポーツアパレルブランド「MONTURA」を含むスポーツウェアのシェア拡大と販売強化に向け、クリヤマジャパン(株)が有する経営資源を有効活用することで、さらなる事業運営の効率化を力強く進めてまいります。また、スポーツアパレル事業を通じて、ベストパフォーマンスを求めるアスリートをはじめ、スポーツやアウトドアを楽しむ人、ライフスタイルをより快適に送りたい人など、皆さまの暮らしを豊かにするサポートを行うことで、健全な社会づくりに貢献してまいります。



## セグメントのご紹介

### アジア事業



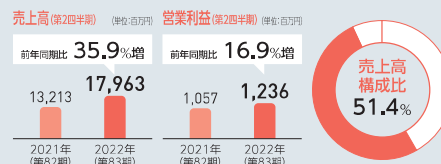
#### 事業のご紹介

アジア中核事業会社のクリヤマジャパン(株)が、8社の子会社、関連会社との強固な連携により多角的に事業を展開しております。産業資材、スポーツ・建設床材、スポーツアパレル等、独自の事業セグメントを形成することで、技術と品質のさらなる向上と革新を目指しております。

#### 当第2四半期の概況

- サプライチェーンの混乱による各種部品の供給制約や、上海ロックダウンによる経済活動抑制等に伴い自動車や建機・農機の生産台数が減少したことから、産業資材事業の収益が減少。
- スポーツ・建設資材事業では、民間設備投資の改善や、鉄道施設の安全対策強化などを含む設備投資増加等により売上は増加したが、工事材料費や人件費増加が利益を圧迫。

### 北米事業



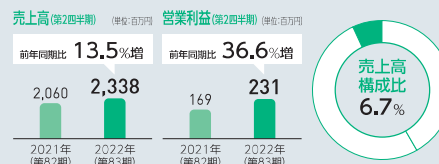
#### 事業のご紹介

産業用ホースメーカーとして様々な用途に対応する各種ホース及び継手を取り揃えております。北米・中米の各地に生産工場、販売拠点、倉庫を配置し、製販・物流の一貫したサービスにより様々な業種向けにホースを提供しております。

#### 当第2四半期の概況

- 食料産業向け「飲料用ホース」や住宅外壁塗装用「ペイントスプレーホース」の需要が高水準を維持。また、第2四半期までの季節需要である農業向け「レイフラットホース」等の販売が好調。
- 現地通貨ベースでの売上増加に加え、円安がプラスに寄与。損益面では人件費や物流費等の高騰に対し、価格転嫁を鋭意実施してきたものの、それを上回るインフレの加速により利益を圧迫。

### 欧州・南米事業



#### 事業のご紹介

ゴム及びウレタン製のレイフラットホース・ノズルのメーカーとして、生産工場をスペイン・アルゼンチンに配備しております。欧州域内に加え、北米・南米地域における販路を拡大しております。

#### 当第2四半期の概況

- 北米事業の販売ネットワークを活用した消防機関向け「消防用ホース・ノズル」の米国向け輸出が好調に推移。また、灌漑を含む農業向け「レイフラットホース」等の販売も堅調に推移。
- 損益面では、引き続きアルゼンチンの超インフレ会計適用がマイナス要因となるものの、旺盛な需要の取り込みにより増益となる。

### 2 2022年度 健康経営優良法人に認定

当社及び当社連結子会社であるクリヤマジャパン(株)が「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されました。



「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」とは、経済産業省と日本健康会議が共同で、健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰するものです。

当社グループでは経営トップのもと、関連部門が一丸となり、新型コロナウイルスワクチンの職域接種や婦人科検診への費用補助などの取り組みを積極的に行ってまいりました。今後も引き続き、社員とご家族及びステークホルダーの皆さまの健康増進に関する取り組みをさらに強化していくことで、健全な職場環境を推進し持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

